

第82号

新城市市民病院総務企画課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850

防災特集

災害時に役立つ

けがの応急手当

地震など大規模災害が発生し、けがをしてしまった場合や、自分は無事でも家族や周りの人がけがをしている場合、どのようにすればよいでしょうか。災害時は、救急隊が普段のようにつけられないことも想定されます。今回は、災害時に役立つ応急手当をご紹介します。

切り傷などによる出血

- 1 傷を完全に覆える大きさの清潔なガーゼ（ない場合は手拭いやタオル）でやや強く押さえて止血する。
 - 2 患部を清潔に保ち、包帯などを巻く。
- ※ 直接血液に触れないようにビニール袋やゴム手袋を使用する。



やけど

- 1 流水で患部を冷やす。水道が使えない場合は、水で濡らした清潔なガーゼやタオルを頻繁に交換して冷やす。
 - 2 水ぶくれは破らないようにする。
 - 3 清潔なガーゼや布を当て、包帯をする。
- ※ 衣服の上からやけどを負った場合は、無理に脱がさずに衣服の上から冷やす。

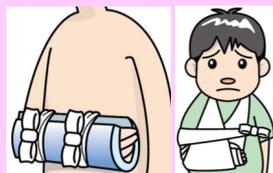
骨折

- 【骨折の症状】
- ・激痛
 - ・変形
 - ・腫脹
 - ・冷や汗、悪寒
 - ・触ると骨がずれている
 - ・傷口から骨の一部が露出

- 1 副子（板や雑誌など骨折部分を動かさないように固定できるもの）を当て、痛くない位置で固定する。副子は骨折部分の上下の関節より長くする。

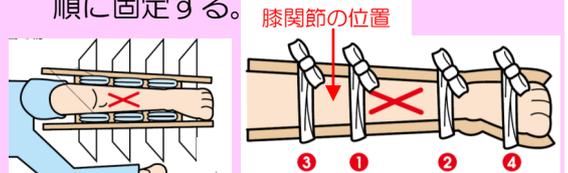
【腕の場合】

副子で固定し、三角巾で胸部に固定する。



【足の場合】

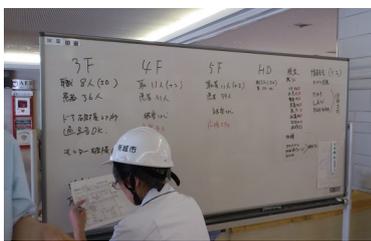
骨折部分の両側から副子を当て、関節が動かないよう下図のとおり1～4の順に固定する。



給食室では初期消火訓練を実施



各部署が被災状況を本部へ報告



集まった情報を整理する職員

この地震防災訓練は毎年定期的の実施しており、今後発生が予想される東海・東南海地震等、大規模災害発生時に災害拠点病院としての役割を果たせるよう体制を整えていきます。

防災特集

地震防災訓練を実施

9月3日（火）午後2時から地震防災訓練を実施しました。今回は、週休日に大地震が発生した想定で訓練を行い、病院建物や医療器械の被災状況の把握と、災害発生時の医療提供体制の確立について実際の動きを確認しました。

市民病院の経営状況をお知らせします

～平成24年度決算の概要～

新城市民病院では、持続可能な経営と医療機能の充実を目指して「経営改善アクションプラン」及び「新城市民病院改革プラン」を策定し、経営改善に取り組んできました。その成果として、23年度に続き24年度も経常収支黒字を計上することができました。

今後も経営の健全化と常勤医師の定着を図り、地域が必要とする医療が提供できるよう努力してまいります。

1 収支状況

(単位：千円)

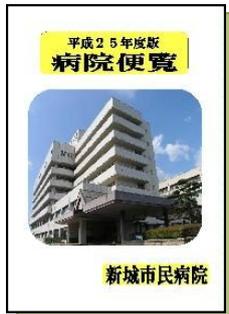
	平成24年度	平成23年度	前年度対比
医業収益	3,533,983	3,519,878	100.4%
入院収益	1,718,904	1,757,794	97.8%
外来収益	1,282,765	1,243,372	103.2%
その他	532,314	518,712	102.6%
医業費用	3,671,821	3,675,026	99.9%
給与費	2,089,991	2,064,141	101.3%
材料費	712,890	697,455	102.2%
減価償却費	211,846	271,470	78.0%
その他	657,094	641,960	102.4%
医業外収益	415,919	419,460	99.2%
医業外費用	212,757	218,055	97.6%
経常利益	65,324	46,257	141.2%
特別利益	176	0	—
特別損失	0	0	—
純利益	65,500	46,257	141.6%

2 患者数

(単位：人)

	平成24年度	平成23年度	前年度対比
外来患者数	102,674	99,323	103.4%
入院患者数	43,615	47,065	92.7%

市民病院の概要をまとめた「平成25年度版 病院便覧」を作成しました。医療機関各種指定状況や職員認定資格、患者受入状況などを掲載しています。病院便覧は新城市民病院ホームページでご覧いただけます。



病院便覧を作成

最新版



9月8日、「つくしんぼうの会」から車いすを1台寄贈していただきました。外来で大切に使用させていただきます。ありがとうございます。うございまして。



車いすを寄贈していただきました